

STAGE+を楽しむ(2)(HP 収載) —STAGE+のアクセス手順—

1. 始めに

前報(1)に引き続き、STAGE+の試聴を実施します。

2. 試聴の経過

前報(1)では、STAGE+の概要説明とアクセス例を述べました。今回はもう少し詳しく補足をします。

配信プログラムは動画と音声ファイルがあることは前回述べたとおりです。音声フォーマットもPCのサウンドで設定することも述べました。

サイトアクセスの初期画面は次々と変わります。

そして、LIVE、NOW ON STAGE+、NEW ALBUMS、FEATURED ARTISTS、FEATURED COMPOSERS、VENUES、FESTIVALS&SERIESなどが現れますので、ここから選択できます。言語は英語と独語ですが、ソリストや作曲家は画像も出てきますので、正確なスペルを確認する必要はありません。

動画は、画面上のLiveを選択し、音声ファイル画面上のAudioを選択しますと、お勧めのコンテンツが出てきます。そしてSearchを選択しますと検索に入れます。

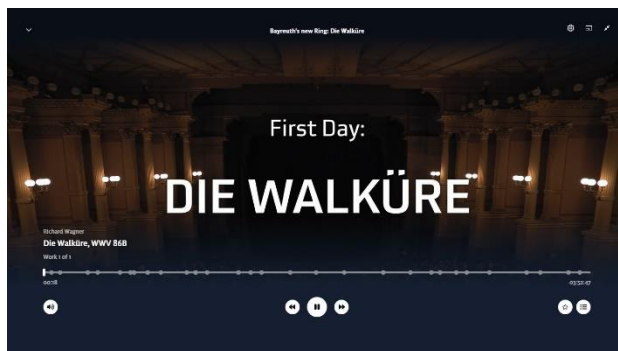
検索手順は次のようなことが可能です。

ソリスト 作曲家 指揮者

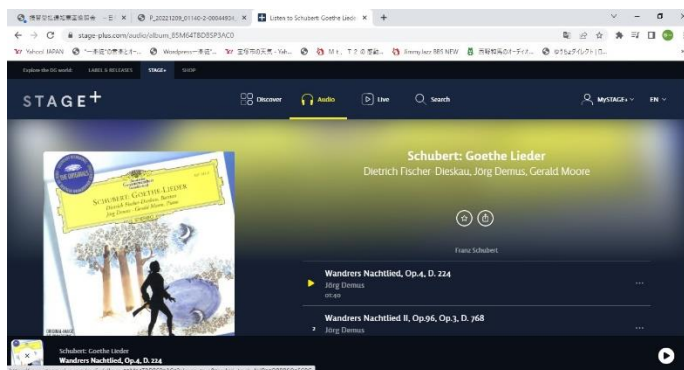
アンサンブル (オーケストラ) Venues (会場)

Venuesの検索では、ホールや音楽祭が出てきます。日本の会場ではサントリーホールが出てきました。

動画ではパイロイトで検索すると、ワルキューレなどが出てきました。パイロイト音楽祭は充実しています。



音声ファイルではシューベルトで検索すると、懐かしいフィッシャー・ディスカウの歌曲が出てきました。アルバムの場合は、画面内のアイコンのクリックからアルバム中の望みの曲に飛ぶことができます。



最新のコンテンツは NOW ON STAGE+や NEW ALBUMS から選択できます。音質の設定は 192KHz に設定しており、SONICA DAC には 192KHz の表示ができません。

SONICA DAC には光城精工の仮想アースの Crystal Ep を、スイッチングハブと PC には自作の仮想アースを、LAN ケーブルにはインフラノイズの LAN リベラメンテを、USB ケーブルにはインフラノイズの USB リベラメンテと USB アクキュライザーを、ルーターには iFI の iPurifier DC を、電源タップにはインフラノイズのタップリベラメンテと iFI の iPurifier AC を、SONICA DAC にはパワーリベラメンテを、SONICA DAC と PC にはインフラノイズのアリエナイザーなどと種々の対策を施してきた成果が現れて、音質的には満足すべきレベルに達しています。今後も興味を引いたものがあれば、その都度報告していきます。

以上